

## 令和2年度地域ケア推進会議（第2回） 議事要旨

1. 開催日時 令和2年12月14日（月）10：30～12：00
2. 開催場所 リンクステーションホール青森 5階 大会議室
3. 参加者 ○青森市地域包括支援センター（介護予防・重度化防止担当職員）  
○一般社団法人青森県理学療法士会  
○公益社団法人青森県栄養士会
4. アドバイザー 厚生労働省 老健局 認知症施策・地域介護推進課 田中氏
5. 会議の概要 前回（第1回に）いただいたご意見等を踏まえ、  
○「自立支援の大切さが上手く伝えられない、自立支援に向けたサービスの提案が難しい」＜テーマ1＞  
○「自立支援型の会議について達成目標や評価基準をどこに定めればいいのか」＜テーマ2＞  
の2テーマについて意見交換を行い、介護予防・重度化防止に向けた地域ケア会議（自立支援型）の開催について検討した。
6. 意見交換会での主な意見  
＜テーマ1＞  
○利用者本人以外の家族、地域の方も介護サービスありきの関わりが多く、いくら本人へのアプローチを頑張っても、周囲の理解が進まずにうまくいかないことがある。  
○ひとり暮らしや身寄りのない人は介護保険制度自体への関心が高く、早くから専門職へと繋がりやすい一方で、自立というよりサービスへの依存が高い傾向にあると思う。  
○利用者はサービスへの依存傾向があるため、サービス担当者会議でサービス調整だけではなく、専門的な視点を取り入れ、もう少し利用者の自立支援についての考えを呼び起こしていくような会議にしなければいけないと考えている。  
○病院は退院に向けた期間の設定があり、退院に向けたリハビリを行っていくが、在宅では明確な期間がないため難しい。

- 高齢者向けの料理教室、特に男性向けは効果的だと思う。  
口の中の健康、自歯が多いことなど、口腔機能が保たれている人は自立度が高い。

[アドバイザーからの助言]

- 生駒市の例では、地域リハビリテーション活動支援事業を活用し、県のリハビリ協会から専門職を派遣していただき、デイスタッフ等の事業者向けに、夜間、2時間程の講義や研修を行っている。ロールプレイ等を通して実践し、理解を深めてもらっている。

## <テーマ2>

- 介護予防・重度化防止は、テーマとして広く深いため、評価の基準をどこに定めたらよいか、どこをゴールにすればよいか難しい。
- 軽度の人介護サービスだけを次々利用してしまうと、介護人材が不足する中で重度の人が介護サービスを利用できなくなってしまうため、地域資源や支え合い体制は大変重要だと思う。
- つどいの場には男性が少ないが、開始前のパイプ椅子の準備等、役割を与えることで、いきいきと活動する方もいるので、役割を持たせることは大変重要と考えている。

[アドバイザーからの助言]

- 生駒市では、具体的に将来このような状況になると示すことで、それに向かって逆算し、今何をすべきかということイメージさせている。
- 高齢者がご自身でできることはないかということを考える機会、仕掛けを行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会が分担しつつ行っていくことが重要である。